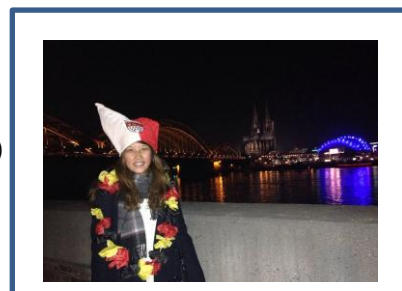


留学先：ハンブルク大学

氏名：三上結以（留学時：教育地域科学部地域科学課程 3年）

留学期間：2014年10月～2015年3月（5ヶ月）



交換留学を希望した動機	語学力を向上させたいという思いと、知らない土地で暮らしたり、海外の大学に通うことによって、人間的に成長したいという思いがあったため、交換留学を希望しました。
留学先を決めた経緯	第二外国語として、ドイツ語を勉強していましたし、ドイツの多文化共生について関心があり、帰国後の卒業研究に役立てたかったので、ドイツに決めました。 また、ハンブルク大学からの留学生と仲良くしていたことも理由の一つです。
留学先の大学について （特徴や紹介したい特色）	日本語学科があるので、日本に関心のある学生が多く、すぐに現地の学生と仲良くなれます。また、タンデムという、語学を勉強する人同士がペアになって、母国語をお互いに教えあうということも盛んに行われていて、掲示板にタンデムパートナーを探しているという張り紙がたくさんあります。ですので、すぐに何人かのタンデムパートナーを見つけることができ、ドイツ語も向上させることができます。
留学先で履修した科目や学習等	<ul style="list-style-type: none">・ドイツ語 レベル A1.2・ドイツ語 レベル A2/B1・「英語圏の日常生活」・「英語圏 - 類似点と相違点」
あなたの留学先へ交換留学を考える福井大学生へのメッセージ	私の場合は、留学当初、ドイツ語があまりできなかったのですが、現地の学生と一緒に、専門的な授業を履修することができませんでした。また、ドイツ人とはもちろん、他の国からの留学生とも、基本的にはドイツ語で会話することになるので、日本にいるうちにしっかりとドイツ語を身につけておいた方が良いでしょう。 しかし、もしドイツ語に自身がなくても、ボディランゲージ等を交えて話しかければ仲良くなれるので、あまり心配しなくてもいいです。大事なことは、失敗を恐れずに積極的になることだと思います。留学生生活を精一杯、楽しんでください。

【交換留学の成果について】

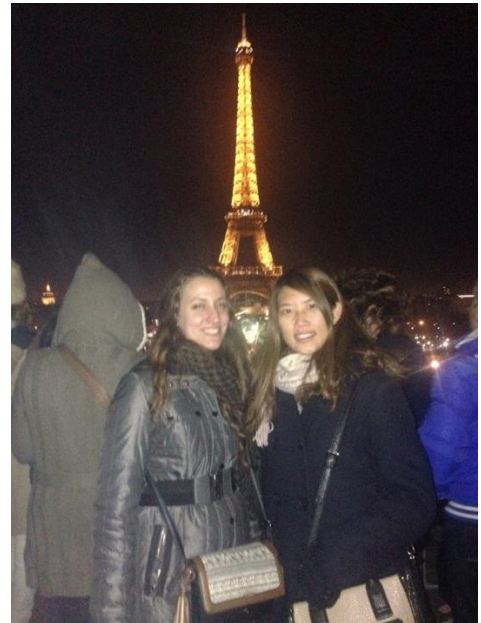
実は、ドイツ語と英語の両方を向上させたいという思いから、交換留学を希望しました。現地では、ドイツ語と英語の授業も受けてはいましたが、思い描いていたよりは、語学力は向上しませんでした。特に、英語に関してはいまいちで、帰国後に TOEIC を受けたのですが、5 点しか上がっていませんでした。しかし、ドイツ語に関しては、留学する前と比べたら、向上したという実感があります。帰国してから、ドイツ語圏からの留学生達の会話や先生とドイツ語で話しているのを聞くと、完璧ではありませんが、内容は理解できます。また、Facebook 等で、ドイツ人の友達がドイツ語で書いてあるのを見て、一部分からない単語があるときもあります。何が書いてあるのか大体理解することができます。ですので、語学力向上という目標は半分達成できました。

また、人間的に成長したいという思いがありましたが、その目標も達成できたと思います。留学する前は、実家で暮らしていたので、一人で何もかもしなくてはならないという状況に直面したのは、今回が初めてでした。炊事洗濯、何もかも両親にしてもらっていたので、自分のことは自分でするという、当たり前のことではありますが、その当たり前のことができるようになったということは、私にとって、大きな成長でした。

さらに、度胸が身に付いたと思います。授業でドイツ語や英語でプレゼンテーションをしたり、パーティーに行き、初対面の人の輪に入って、自分から話しかけるといったことを経験しました。帰国後の就職活動中に、選考でプレゼンテーションをしなくてはいけないことがありました。留学する前だったら、人前で話すというだけで、緊張して上手く話すことができませんでしたが、留学していたときのことを思い出して、「外国語ではなく、日本語でプレゼンテーションなんて、簡単だ。」と思うことによって、リラックスして話すことができました。

私は、留学前に、ドイツ人や他の国からの留学生と仲良くなることを期待していました。その反面、自分は内向的な性格のため、本当に友達ができるのか、心配した部分でもありました。最初の 1 ヶ月は実はなかなか友達ができませんでした。また、私は日本人と仲良くするつもりはあまりなかったため、最初は他の日本人留学生とも距離を感じていました。ですが、私のそんな状況を変えてくれたのは、意外にも日本人でした。たまたま、同じ学生寮に住んでいた、日本人留学生が何回か声をかけてくれ、徐々に仲良くなりました。それから、その子伝いで、ドイツ人の友達や、現地で働いている日本人やワーキングホリデーで来ている日本人などと知り合いました。その人たちのおかげでそれからの留學生活がガラリと変わり、とても楽しいものになりました。仲良くなった日本人のうち、二人は私と同じ時期に帰国しました。ですので、既に 2 回、日本で会っています。夏には、もう一人の日本人が帰国する予定ですし、ドイツ人の友達も日本に遊びに来る予定なので、またみんなで会えると思うと楽しみです。留学前は、こんなに仲の良い友達ができるとは思っていませんでしたので、本当によかったです。

さらに、ドイツ国内や他のヨーロッパの国など、様々なところに旅行できたのも良かったです。



逆に、留学前に期待していたけど、できなかったこともあります。それは、ドイツの移民問題について調べるといことです。卒業論文で、多文化共生について研究したいと思っていたので、そのことについての知識を身に付けられると期待していましたが、そのような授業もあったかもしれませんが、ドイツ語のレベルが低いので、専門的な授業は取れませんでした。また、アラブ系の人と仲良くなりましたが、なかなか深いところまで質問するのは失礼かと気を遣い、結局何も知ることができませんでした。

留学経験を踏まえて、将来は日本と海外とを繋ぐ、架橋のような存在になりたいと思っています。現在、就職活動中で、どうなるかはまだ分かりませんが、海外と繋がりのある企業を志望しています。